

シラバス

I. クラスの目標

- A. 生徒は、帰納的聖書研究法の手順（観察、解釈、関連性、適用）を理解し、それをマタイの福音書に用いて、筆者の意図を客観的に正しく理解する手順を身に付けること。
- B. 生徒は、歴史的・文化的・文学的・文法的解釈を理解・実践すること。
- C. 生徒は、適用の原則を理解し、正しく聖書の書かれた筆者の時代のメッセージを現代に適用することに慣れること
- D. 生徒は、生涯聖書に聞き、み言葉の真理を伝える者になるために、聖書を読み心を理解する喜びを深く体験すること。

II. 授業の進め方

その日に決められたテキストを読み、提出物を完成させクラスで共に学び合う。

III. テキスト・参考文献

- A. Robert Traina, *Methodical Bible Study*
- B. G. D. フィー、新約聖書の釈義 永井竹司訳、教文館、1998
- C. Roy Zuck, *Basic Bible Interpretation*
- D. メリル C. テニイ、新約聖書研究：ガラテヤ人への手紙 島田幅安訳、聖書図書刊行会、1968
- E. 聖書地図、コンコルダンス、聖書ソフト（アコードダンス Accordance）

IV. コースの課題

- A. スケジュールされた提出物をクラス前に準備する（80%）
- B. リーディング（20%）：マタイを7回読むこと。その他、クラスにスケジュールされたテキストの箇所をよむこと。

V. コースの評価：60点以下はFで取り直し。(A+=98, A=95, A-=92, B+=88, B85, B-=82, C+=78, C75, C-=72, D+=68, D=65, D-=62, F=60)

VI. スケジュール

4 / 9	クラス	1	クラスの説明とオバビュースタディー 1) 聖書を学ぶ意味と手順 2) マタイの福音書のオバビュースタディー ①: マタイの流れが見えるように読んで、①大きな段落区分をし、各区分に題を付ける; ②メインテーマが何で、各段落での展開を説明する
Traina: 1-2章に目を通す: 観察: 接続詞、分詞、不定詞、 キーワード			
23	クラス	2	観察: 構成 (ア-ギメント)、歴史的背景 1) 山上の垂訓の観察② 2) コンコルダンスを用いた「奥義」のワードスタディー③ * テニー: 2章まで フィーP44
Zuck: 1-3、6章			
5 / 7	クラス	3	解釈: 物語 (文学的) 一書簡、詩篇と比喩的表現、ワードスタディー、神学の解釈、旧約の新約の引用、 1) マタイ 2: の旧約引用の解釈④ 2) マタイ 13章の観察、解釈、⑤
Z: 4章、9章、 10章、5章			
21	クラス	休	
6 / 4	クラス	4	解釈: 続き (詩篇と比喩的表現、ワードスタディー、神学の解釈、旧約の新約の引用=詩篇 2:7 の新約の引用の意味と用いられ方) 1) マタイ 24-25章の観察、解釈、⑥ 2) 神の国のテーマの進展⑦
Z: 7-8章、11章			
18	クラス	5	関連性: アーギュメント 1) マタイのアーギュメント 2)
T: 4章			
7 / 2	クラス	6	適用: 文化的な新約聖書
Z: 12章			
9 / 10	クラス	7	
24	クラス	8	